

K120.73

6

1

大和田和尋 著
小學常小 著
帝國歌唱
卷上



緒言

此書は尋常小學の生徒に誦はしむるを以て程度とす。或は程度の高きに過ぐると云ふ人もあれど。それは歌と平語との別を考へざる論といふべし。歌は悉く著者の新作を用ひ。曲譜は専ら辻則承君に助力を乞ひて選定せしを用ふ。本譜の外に數字もて記したるは。數字譜練習の用に充てんが爲めなり。或は男子にのみ適して女子に適せぬもあるべく。或は女子にのみ適して男子には全く適せぬもあるべし。其他時節により地形による類もあるべければ。なるたけ曲數と種類とを多からしめんことを勉めたり。

明治廿五年二月

著者 じるす

尋常
小學

帝國唱歌上卷目次

始業の歌……………三	好き家……………五	小蝶……………十九
朝の歌……………九	鯉よ龜よ……………七	はせつり……………二十一
田植の歌……………十一	朝の歌……………九	貧しき人……………二十三
國の民……………十三	親の恩……………十五	今こそ……………二十五
神風……………十七	旅の空……………二十七	トドトドン……………二十九
	終業の歌……………三十二	

数字練習

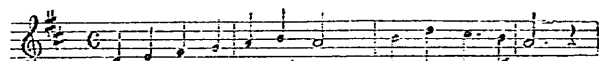
1, 2, 3, 4 | 5, 6, 5 - 4 | 1, 7, 6 | 5 - 0 | 4, 6, 5, 4 | 3, 5, 4, 3 | 2, 3, 4, 5. 2 | 1 - 0. |
 2 - 5. 5 | 7. 6, 5, 5 | 3, 6, 2. 1 | 7 - 0 | 1. 1, 7, 6 | 2. 1, 7, 6 | 5, 5, 6. #4 | 5 - 0. |
 5, 5, 6, 7 | 1 - 7, 1 | 3. 2, 1, 6 | 5 - 0 | 4, 6, 5, 4 | 3, 5, 4, 3 | 2, 3, 4, 5. 7 | 1 - 0. ||



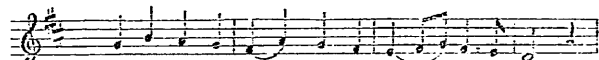
始業の歌

まゝ新なる君の恩
 戴まつれて今日に
 集ふ友こそうれしけれ
 朝空高くなる影を
 雲らぬ影を照らされて
 情も漆き師の影を
 ふとび今朝の影なり
 さらよ思へば身は教
 盡きせぬ月日のうれしよ
 開くる御代は千代まで
 道の諸共よ

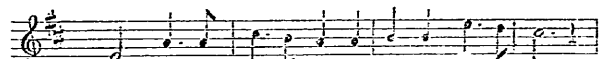
始業の歌



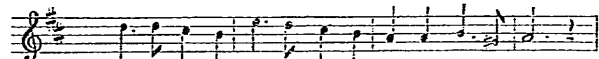
(一) またあらたなる きみのかん
 (二) ナサケモフカキ レノカゲヲ



いただきつーれてゆーここに
 フタタビケーサハアフーグナリ



つどふともこそうれしけれ
 サラニオモへバミノヲレへ



まなびにつくこそたのしけれ
 ツキセヌツキヒノウレレサヨ

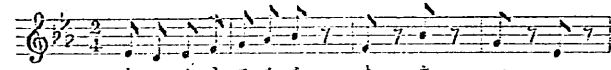


あさぞらたーかくのぶるひの
 ヒラクルミーヨハヤチヨマデ

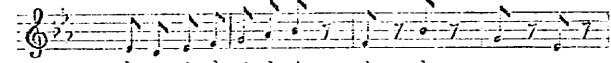


くもらぬかーけにてらーされて
 マナビノミーチモモロトモニ

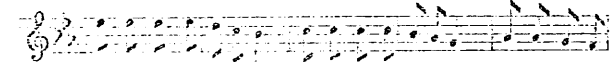
好き家



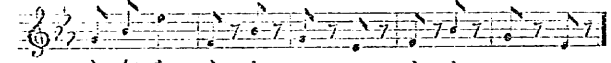
(一) たのしき日がやよきいへ
 (二) タノシキワガヤヨキイへ
 (三) たのしき日がやよきいへ



たのしき日がやよきいへ
 タノシキワガヤヨキイへ
 たのしき日がやよきいへ



あきひのかげもゆふひのかげもかくれぬ
 ちハハトモニハラカモツ口と
 うしろのをかにまへなるかほにあそぶ



おがやよきいへよきいへ
 スメルヨキイへヨキイへ
 うれしよきいへよきいへ

1, 7, 1, 2, | 3, 4, 5, 0, | 2, 0, 5, 0, | 3, 0, 1, 0, :||
 1, 1, 1, 1, | 7, 6, 5, | 6, 6, 6, 6, | 5, 4, 3, |
 4, 4, 3, 2, | 3, 4, 5, | : 2, 0, 5, 0, | 3, 0, 1, 0, :||

好き家

上四

好き家

(一)

樂一き我屋好き家
 朝日の影も夕日の影も

(二)

樂一き我屋好き家
 父母とも兄弟とも
 揃ひて住める好き家

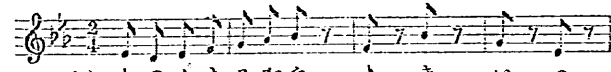
(三)

樂一き我屋好き家
 後の岡は前なる川よ
 遊ぶもうれ好き家

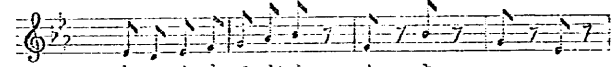
好き家

上五

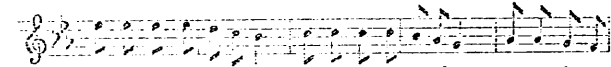
好き家



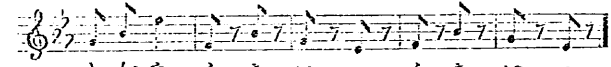
(一) たのしき 月がや よ き い へ
 (二) タノシキ ワガヤ ヨ キ イ へ
 (三) たのしき 月がや よ き い へ



たのしき 月がや よ き い へ
 タノシキ ワガヤ ヨ キ イ へ
 たのしき 月がや よ き い へ



あきひのかげも ゆゑひのかげも かくれぬ
 ナハトモニ ハラカラトモニ ツロと
 うしろのをかまへなるかほに あそぶも



わがや よ き い へ よ き い へ
 スメル ヨ キ イ へ ヨ キ イ へ
 うれし よ き い へ よ き い へ

1, 7, 1, 2, | 3, 4, 5, 0, | 2, 0, 5, 0, | 3, 0, 1, 0, ||
 1, 1, 1, 1, | 7, 6, 5, | 6, 6, 6, 6, | 5, 4, 3, |
 4, 4, 3, 2, | 3, 4, 5, || 2, 0, 5, 0, | 3, 0, 1, 0, ||

好き家

上四

好き家

(一)

樂ら一いき我屋好い家

朝あさ日ひの影かげも夕ゆふ日ひの影かげも

隠かくれぬ我屋好い家

(二)

樂ら一いき我屋好い家

父ちち母ははとよ兄弟けいどもよ

揃そろひて住すめる好い家

(三)

樂ら一いき我屋好い家

後うしろの岡おかよ前まへなる川かわよ

遊あそぶまうれ好い家

好き家

上五

(三) 遊べ 鯉よ 龜よ

(三) 踊れ 水よ 波よ

(三) 藤の水の上よ

一ふれて長く影まで匂ふ
風よ花と遊べ

(三) 歌聲あげて足ふみ立て、
池の波よ水よ

(三) 菖蒲の陰よ若葉の陰よ
池の龜よ鯉よ

鯉よ 龜よ

1, 2, | 3, 0, 3, | 3, 3, 2, 2, | 1, 0, 3, |
 5, 5, 5, 6, | 5, 3, 3, | 5, 5, 5, 6, | 5, 3, |
 5, 1, | 6, 6, | 5, 5, 5, 7, | 1, 0, ||

朝の歌

(一) 月影いろく霞は消え
今こそ朝よ急げ里の歌ハ野末は満つ

(二) 春風やぶる小蝶の夢
朝露のあめさる董の床
今こそ時よ急げ野邊よ
菜を摘む少女木を伐る翁

(三) 雲なき空ははや出で
今こそ春よ急げ小田の梢の花
耕す牛も種蒔く子も

朝の歌

(一) { ついまか しろく まなまき えひし
いこをせあさよーいイナキとメ
ルカコヤトキーヨイツゲノベニ
ハイマコソトキーヨイツゲノベニ

(二) { ばりのうたはのまなつ
むらるをとめルメスキ
ラツムラトメ

(三) { くもなきそらにひはやいで
いまこそはるよいそげをだに

ろどりーそへしこずるのえ
がへすーうしーもたおまくーこも

5, | 5, 5, 3, 1, | 1, 7, 7, 0, 5, |
 4, 4, 5, 2, | 3 — 0, 1, |
 6, 4, 1, 76, 65, 5, 0, 3, |
 5, 5, 5, 4, 7, | 1 — 0, ||

田植の歌

(三)

(二)

山も里もどいろくままでよ
 はやせいはいはへ瑞穂の國を

謡へく田植の歌を
 祝へ離せめでよき御代を

雨のめぐみ日影のめぐみ
 はやも秋の頼をのけて

植ふよ山田の稲を
 緑ふりまき山田の苗を



田植の歌

(一) うめウサ
 (二) や

よみへモ
 うめウサ
 うのへモ
 まかウド
 やひタト

いぬめウサ
 ののクマ
 だげエロク
 りもへせ
 どやハヤ
 みえイハ

ねぐクテ
 をみラニ
 きのセヘ
 ふあハイ
 かきヤハ

をてララ
 へけヨニ
 なホミク
 のをキノ
 だみタホ
 レミのデツ
 やたノミ

5, 5, | 3, 0, | 5, 5, | 3, 0, |
 5, 5, | 6̇5, 43, | 2, 32, | 1, 0, |
 12, 34, | 5, 0, | 12, 34, | 5, 0, |
 6, 6, | 5, 3, | 2, 32, | 1, 0, ||

③

國民々々君の代に
皇の御威を祝へよ

②

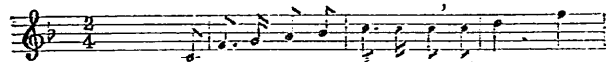
國民々々わが身を奉
四海よ類なき皇統を守れよ

①

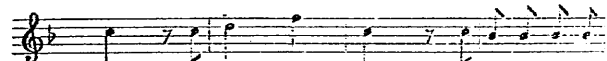
國民々々わが國愛して
世界よ秀づる譽を守れよ

國民

國民



(一) こくみんこくみんこく
(二) コクミンコクミンワ
(三) こくみんこくみんき



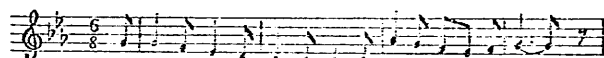
に あ い し て せ わ い に ひ
ヲ ホ ヲ シ テ セ カ イ ニ ル
よ う た ひ て す め ら が ミ



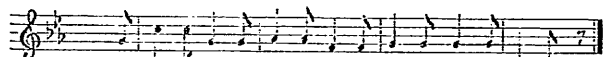
いづるかまれをまもれよ
キナクウトマモレ
いをいへうたへ

5, | 1, 2, 3, 4, | 5, 5, 5, 5, | 6, 1, | 5, 0, 5, |
6, 1, | 5, 0, 5, | 4, 4, 4, 4, | 3, 3, 3, 3, | 2, 5, |
3, 0, 3, | 2, 5, | 1, 0, ||

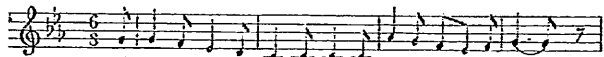
親の恩



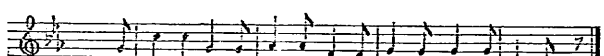
(一) まつ つか ぜる さび しき か や の え か に
 (二) こボ かる せな み だの み フ あ お め よ
 コワ ノミ ル ナ ワ ガ ト モ オ フ ノ ア ル ヒ



ま う そ し こ ろ を た れ か し ら ん
 こ ど く こ ち な き こ け の し た に
 コ フ レ ド カ ヒ ナ シ ア サ ハ ユ ク
 ツ カ ヘ コ コ ロ ア ニ ク メ ニ



(三) じ あ い の み が ほ も ゆ め ま へ み え ず
 う つ ま の こ ろ は ほ か の し る し



を し へ の こ と も み み を さ り ぬ
 お も へ や か や あ る ひ と の み ま も

3, | 3, 2, 1, 7, | 6, 6, 6, |
 6, | 4, 3, 2, 1, 2, | 3, 3, 0, |
 3, | 6, 6, 3, 3, | 4, 4, 2, |
 2, | 3, 3, 3, 3, | 6, 6, 0, ||

親の恩

上十四

親の恩

(一)

松風さびしき親の墓よ
 諸で一心を誰う知らん

(二)

こぼる涙の水よ 雨よ
 どいにか聲なき苔の下よ
 此身を育て親の恩を
 戀ふれどひな一今い夢よ
 するな我父母のある日
 つうへん心を朝よ暮よ

(三)

慈愛の笑顔も夢よは見えず
 教の言葉も耳を去りぬ
 うつま残り墓のう
 おもへや親ある人の身よも

親の恩

上十五

③

忽おこる神威の颯

残兵まづら三萬餘

寄せなば寄せよ彼本國よ

生うて歸す唯三人

②

蒙古の舟へ波間よ満ちて

其勢すべて十餘萬

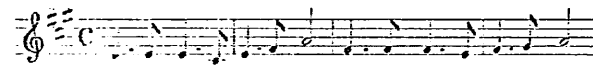
侵さば侵せまづ日の本へ

天祖の守る國なるぞ

神風



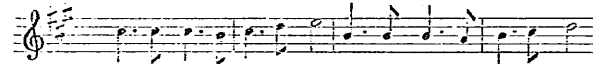
神風



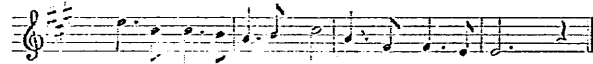
(一)も うこのふねハ なみまにミチテ
 (二)クチマチオコル シンオノハヤテ



そのせはずべてじふよまん
 ザンペイワヅカサンマンヨ



をかさばをかせまぢひのもとハ
 ヨセナバヨセヨカノホンゴクゴ



てんそのまもろくにならぞ
 イカレテカヘスタダミタリ

5, 5, 5, 3, | 5, 6, 1 - | 6, 6, 6, 5, | 6, 7, 1 - |
 3, 3, 3, 2, | 1, 2, 3 - | 1, 6, 6, 5, | 5 - . 0, |
 3, 3, 3, 2, | 3, 4, 5 - | 2, 2, 2, 1, | 2, 3, 4 - |
 5, 3, 3, 2, | 1, 2, 3 - | 1, 6, 6, 5, | 5 - . 0, ||

小 蝶

小 蝶

(一) あそべやこてふよくきにひきくりあ
 (二) ハタケノナタえハケフゾサカセ
 (三) やなぎのおせにらゆめとさま

そべやとてふよそらにたかくりと
 ミチノレシゲハイマソサカヘツ
 くらのつゆにらホをあら

まればやをホハのいハにわしにヤ
 カレバヤスモテオムレハナニ
 みれもつををなもか不きのベに

サめヤカきねのたけにレギにニ
 スマバカケリテアソソハナ
 スおもやすむおののがま

5. | 5. 5. 5. 5. | 3. 3. 1. 1. | 6. 6. 2. 2. | 5. 5. |
 1. | 1. 1. 3. | 2. 2. 2. 4. | 3. 3. 5. 3. | 2. 0. 5. |
 5. | 5. 5. 5. | 3. 3. 1. 1. | 6. 6. 2. 2. | 5. 5. |
 1. | 1. 1. 3. | 2. 2. 2. 4. | 3. 4. 2. 3. | 1. 0. ||

上十八

小 蝶

(一) 遊べや小蝶よ草よ低く
 遊べや小蝶よ空よ高く
 遊べや小川の岩よ芦よ
 遊べや垣根の竹よ杉よ
 遊べや小川の岩よ芦よ
 遊べや垣根の竹よ杉よ

(二) 畑の菜種も今ぞ盛
 田道の蓮華も今ぞ盛
 つうれば息みて眠れ花よ
 やままば翔りて遊べ花よ

(三) 柳の風よも夢を覺ませ
 櫻の露よも顔を洗へ
 菫も芽花も多き野邊よ
 遊ぶもやまむも己がまよ

小 蝶

上十九

三

暮れゆく空雲もな
明日こそ休今日ぞ時

三

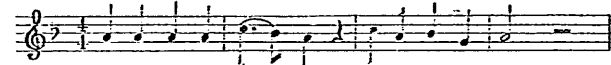
夕月さす波の上
棹さす時を忘るなよ

三

秋風ふく水の上
沙魚つる時を過さすなよ

はせつり

はせつり



(一) あきかぜふくみづのうへ
(二) ユフグキサース ナミノウヘ



はせつりときとすどすなよ
サアサストキラワスルナヨ



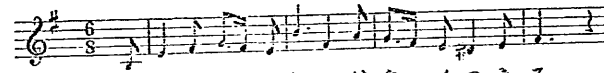
(三) くれゆくそら くももし



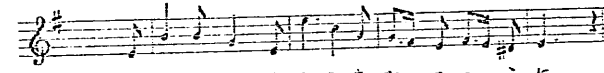
あすこそやすみけふぞとき

3, 3, 3, 3, | 5, 4, 3, 0, | 5, 3, 4, 2, | 3 - 0 - |
4, 4, 3, 3, | 6, 7, 1, 0, | 5, 3, 4, 2, | 1 - 0 - ||

貧しき人



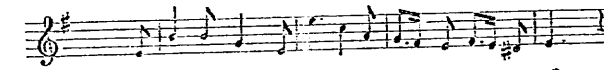
(一) たきびのたねはやくつきて
あられのきのいたをうちて



ふけゆくよこのさむさいらに
みにしむうぜんわまのうち



(二) マツレキーヒトノチチーヨハハヨ
ワガミノーキヌヲヒトヘヌギテ



イカデカコヨヒフユーヲシーノグ
スクフハタレゾカレガオーヤヲ

3. | 6. 7. 1. 7. 6. | 3. 7. 2. | 1. 7. 6. #5. 6. | 7. 0. |
6. | 3. 3. 1. 6. | 6. 4. 2. | 1. 7. 6. 7. 6. #5. | 6. 0. ||

貧しき人

上廿二

貧しき人

焚火の種は早く盡きて
更けゆく夜半の寒さ如何

霰の軒の板を打ちて
身まゝむ風ハ閨の内よ

貧しき人の父よ母よ

いらでる今宵冬を凌ぐ
我身の衣を一重ぬきて
救ふハ誰ぞ彼が親を



貧しき人

上廿三

今こそ

上廿五

(一)

今こそ春

垣根の若草堤の青柳

みな世に榮ゆるをこそ

(二)

今こそ夏

野邊の水音空ゆく月影

みな世を樂むをこそ

(三)

今こそ秋

薄を吹く風枯梗に置け露

みな世に親むをこそ

今こそ

(一) いまこそ春 垣根の若草堤の青柳
 (二) いまこそ夏 野邊の水音空ゆく月影
 (三) いまこそ秋 薄を吹く風枯梗に置け露

ななな みに ざふ ゆー ろさ ま
 えに ヨラ タノ シー ムサ マ
 えに し た しー む さ ま

今こそ

上廿四

5, | 1, 3, 2, 5, | 3, 0, |
 2, | 3, 45, 6, 5, | 4, 3, 2, |
 2, | 3, 45, 6, 5, | 4, 3, 2, |
 6, | 5, 0, 0, 5, | 4, 0, 0, |
 4, | 3, 54, 3, 2, | 1, 0, ||

旅の空

(一) きのふハコキウのちちのもとに
 (二) ケのサマデコヒルハハノマヘニ
 (三) いまこそしらるれハハのめぐみ

きのふハコキウのちちのもとに
 ケのサマデコヒルハハのめぐみ
 いまこそしらるれハハのめぐみ

ふきをみよもみしれもヒトモかきしね
 こえひしきこきりーコトモヒタ

おもへバけふハたびのそら
 オモツカゼソレモきトホキノよに

旅の空

上廿六

6, 7, 1, 2, | 3, 2, 1, 7, | 6, 5, 6, 7, | 6, 3, :||
 3, 3, 7, 2, | 1, 7, 6, | 3, 3, 7, 2, | 1, 7, 6, |
 5, 6, 7, 3, | 1, 7, 6, | 3, 2, 1, 7, | 6, 0, :||

旅の空

(一)

昨日の故郷の父の許よ

書をも読み文字をも書き

思へば今日の旅の空

(二)

今朝まで戀い母の前よ

衣をも縫ひ琴をも弾き

思へばそれも遠き空

(三)

今こそ知らるれ親の恵

戀い故郷のなま旅寐

松風さびき秋の夜よ

旅の空

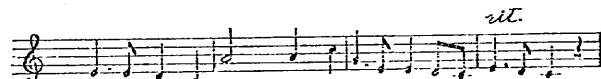
上廿七

終業の歌

終業の歌



(一)きみのめぐみのめぐみ
(二)ケアハツレヒアスワカル



やまよりたかくみよりふらし
ワカレテトモニマタアフヒマデ



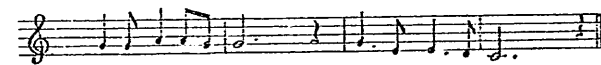
まなびのたまものいなちつれて
チチハハウヤマヒミラツツシエて



らへるもうれしきみやのかど
ワガレノヲシヘコワスルナーヨ



わするなよきこのめぐみ
ア리가ターヤキレノメグミ



わするなよしのめぐみ
ア리가ターヤレノメグミ

上冊一

(三)

敵追ふ虎てまか

荒れ立つ獅子あ

見よく谷み逆巻く波さうま

トツトトトトトトツ

トツトトトツトトトツ

タツタツタツタツタツ

タツタツタツタツタツ

タツタツタツタツタツ

タツタツタツタツ

下下下下

上三十

5 - 5. 3. | i - i, 6. | 5. 6. 5. 3. | 2 - . 0. |
 3. 3. 2. 1. | 6 - 6. i. | 5. 3. 3. 2. | 3. 2. 1. 0. | 2. 2. 3. 2. |
 3. 2. 1. 2. | 3. 3. 3. 3. 5. 3. | 2 - . 0. | 5. 5. 3. 3. | 2. 2. 1. 1. | 2. 2. 2. 3. |
 1 - . 0. | 5. 5. 6. 6. | 5 - . 0. | i. i. i. i. 6. | 5 - . 0. |
 5. 5. 6. 6. | 5 - . 0. | 5. 3. 3. 2. | 1 - . 0. ||

(一)

終業の歌

君の恵師の恵
 山より高き海より深き
 學のさまもの皆持ち連れて
 歸るもうけしき親の門
 忘るなよ君の恵
 忘るなよ師の恵

(二)

今日ハ集ひ明日別る
 別れてともまた逢ふ日まで
 父母うやまひ身をまゝ
 師の教を忘るなよ
 ありがよや君の恵
 ありがよや師の恵

明治二十五年五月五日印刷

明治二十五年五月十日出版

(小宮帝國唱歌上巻)

定価金七錢

著者 大和田建樹

發行兼印刷人 大橋新太郎

日本橋區本石町三丁目十六番地

印刷所 國文社

東京京橋區宗十郎町十五番地

發行書林 博文館

東京日本橋區本石町三丁目



